

高岡市総合計画第4次基本計画「まちづくり指標」進捗状況（令和5年度実績）

1 趣旨

- ・総合計画第4次基本計画では、施策テーマごとに「まちづくり指標」を定め、それぞれ5年間で達成すべき目標値を設定しており、個々の指標に掲げる目標値の達成状況の検証及び評価を通して、計画の進捗管理を実施している。
- ・年度ごとに計画の進捗管理を行うことにより、各分野における施策の整合性の確保や効率性の向上につなげ、総合計画に掲げるまちの将来像の実現を図る。

2 「まちづくり指標」の令和5年度実績（年次目標ベース） ※（ ）令和4年度実績

分 野	指標数	達成状況（上段:指標数、下段:分布割合）						備 考 ※ 計測不可除く
		100%以上	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	測定不可	
1 地域産業	12	6(7)	0(1)	2(0)	1(1)	3(3)	－	80%以上 8(8)
		50%(58%)	0%(8%)	17%(0%)	8%(8%)	25%(25%)	－	67%(67%)
2 歴史・文化	4	2(2)	0(0)	1(0)	0(0)	1(2)	－	80%以上 3(2)
		50%(50%)	0%(0%)	25%(0%)	0%(0%)	25%(50%)	－	75%(50%)
3 交流・観光	18	6(8)	2(1)	2(3)	1(1)	6(5)	1※	80%以上 10(12)
		33%(44%)	11%(6%)	11%(17%)	6%(6%)	33%(28%)	6%	59%(67%)
4 子育て・教育	18	10(11)	2(2)	1(3)	3(2)	2(0)	－	80%以上 13(16)
		56%(%)	11%(%)	6%(%)	17%(%)	11%(%)	－	72%(89%)
5 安全・安心	42	20(21)	8(11)	6(3)	1(1)	7(6)	－	80%以上 34(35)
		48%(50%)	19%(26%)	14%(7%)	2%(2%)	17%(14%)	－	81%(83%)
合 計	94	44(49)	12(15)	12(9)	6(5)	19(16)	1	80%以上 68(73)
		47%(52%)	13%(16%)	13%(9%)	6%(5%)	20%(17%)	1%	73%(78%)

※ 「(3 交流・観光) No.31 公共交通利用率」は、令和5年度調査実施せず。

※ 達成状況の分布割合は小数点以下を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にはならない。

3 総括

- ・第4次基本計画の2年目である令和5年度の目標値に対する達成状況は、100%以上の指標が44項目（47%）、90%台が12項目（13%）、80%台が12項目（13%）であった。
- ・80%以上を達成した指標は93項目中68項目（73%）となり、令和4年度に80%以上達成していた指標の割合（94項目中73項目、78%）を下回った。

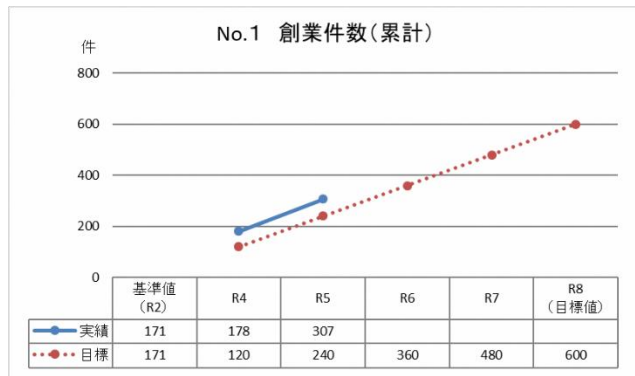
- ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、「2 歴史・文化」、「3 交流・観光」において、「No.13 文化施設入込者数」、「No.17 観光客入込客数」が回復傾向となり、達成率 80%台となった。「No.23 外国人宿泊者数」は達成率 44.8%ではあったものの、令和4年度と比較すると約 2.6 倍の増加となった。
- ・物価高騰をはじめ市民生活を取り巻く経済情勢の変化等により、「4 子育て・教育」において、市で実施しているアンケート調査では、令和4年度と比較すると、子育てに対し不安や負担を感じる保護者の割合（「No.37 子育てへの不安・負担度」）が増加し、子育て支援が充実していると感じる保護者の割合（「No.39 子育て支援の実感度」）が減少した。一方で、情報発信の強化と機能拡充を行ったことにより、「No.36 スマートフォン用子育て情報提供アプリの登録者数」は 100%を超える達成率となった。
- ・令和5年3月に開設した TASU（高岡まちなかスタートアップ支援施設）における創業支援をはじめ、中心市街地や観光地の空き店舗における開業支援事業等に取り組んだことにより、「No.1 創業件数」や「No.24 開業件数」は、令和4年度に引き続き目標を超える実績となった。
- ・第4次基本計画では、コロナ禍で顕在化した課題を克服し、「ひとの力」を活かす施策の展開を加速させるため、令和6年1月に、「第4次基本計画（アフターコロナ編）」を策定し、「デジタル化・DXの推進」、「人材育成・人材確保」、「多様な働き方のできる環境整備の推進」、「地域コミュニティ活動の活性化」の4つの視点を総合計画の各政策分野の共通テーマとしたところ。
- ・また、次の時代の創り手になっていく「ヒト」の循環、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーの推進で生まれる「モノ」の循環、多くの人に関わりながら課題を解決していく「コト」の循環を生み出すことで、「持続可能な未来都市 高岡」の実現に向けた取組みを加速化することとしている。
- ・地域社会、地域経済の新たな活力につながる「ヒト・モノ・コト」の循環により、人口減少に対応しながら、次の世代からも共感を得られるまちづくりを進めていく。

4 分野別の評価

(1) 地域産業

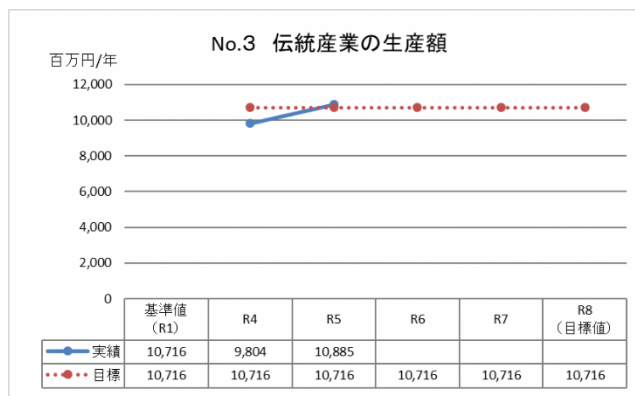
《主な「まちづくり指標」の分析と対応》

【商工業】



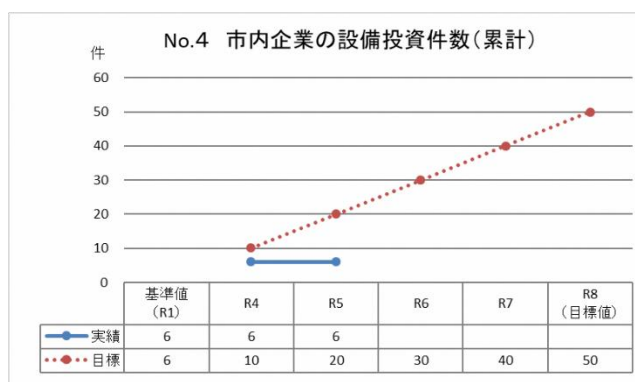
- 各種創業セミナーの開催や創業・事業承継支援補助金等を通して創業機運の醸成を図るとともに、各機関との連携による切れ目のない支援を実施し、目標を達成した。
- 「TASU（高岡まちなかスタートアップ支援施設）」や令和5年11月に開始した「高岡市／富山銀行コンソーシアム創業支援事業」等により創業支援の取組みを進める。

[コトの循環]



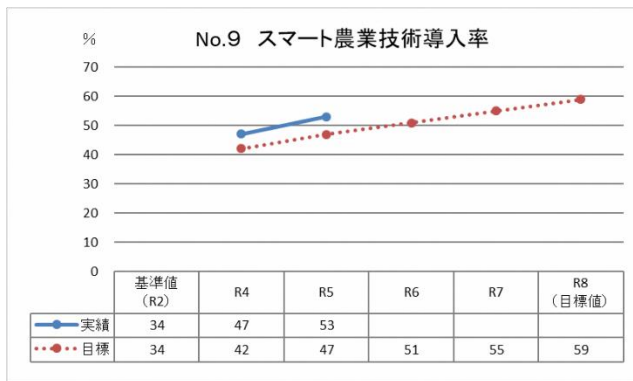
- 伝統工芸に携わる後継者の育成や販路開拓支援に継続して取り組んだほか、海外への販路開拓についても支援を拡充したことで目標を達成した。
- 令和6年能登半島地震で被災した事業者に対する事業復旧支援を行うとともに、米国をはじめとする海外販路の開拓や拡大を目指し、各種支援策に取り組む。

[モノの循環]



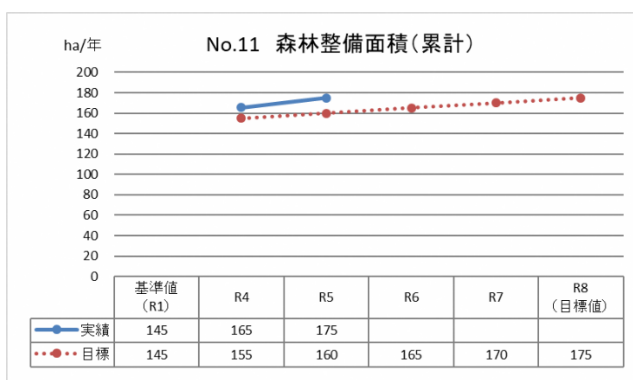
- 首都圏等で開催する企業立地セミナーや企業訪問等を通し、本市の立地環境の優位性や立地に係る支援制度などのPR活動を展開したが、目標には達しなかった。
- 生産施設以外（外構、倉庫等）の設備投資についても補助対象となるよう制度を拡充し、企業誘致や企業の立地や設備投資の促進に向けて、積極的に取り組む。

【農林水産業】

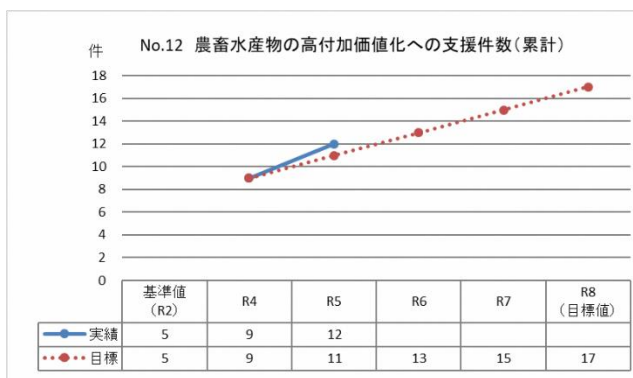


- 市や高岡地域担い手育成支援協議会の補助事業を活用し、5つの農業経営体において自動操舵機能付きトラクターや農業用ドローン等スマート農業の促進に向けた資機材が導入された。
- 持続可能な農林水産業の展開及び技術継承の円滑化に向け、引き続き支援に取り組む。

〔ヒトの循環〕



- 里山再生事業を活用し、4地区で約10haの森林整備を実施した。
- 引き続き、地元からの相談受付や県との連携等を通じ、森林整備が必要な地域の把握と適切な維持に努め、森林の持つ多面機能の増進と森林資源の充実を図る。



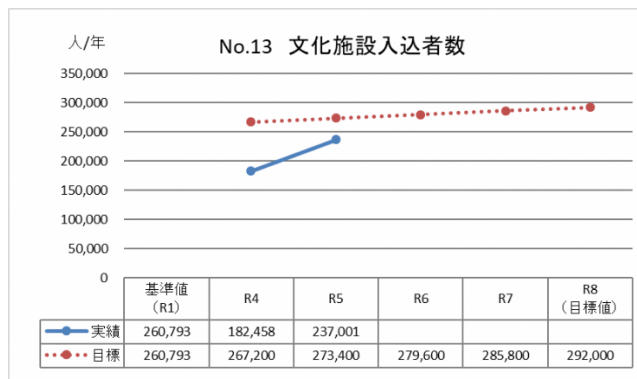
- 自家生産米を加工した稲荷寿司やレタスなど葉野菜を加工したミックス野菜の製品化等に対して補助を行い、目標を達成した。
- 高付加価値化への支援事業と併せて、販路拡大等の関連施策を含めた支援制度や先行事例の周知を行うことで、実施事業者の増加を図る。

〔モノの循環〕

(2) 歴史・文化

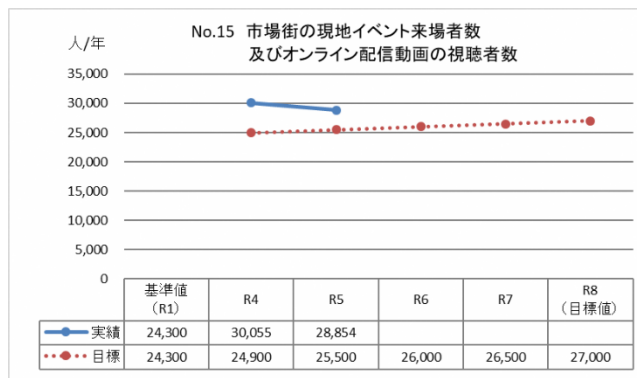
《主な「まちづくり指標」の分析と対応》

【文化財】

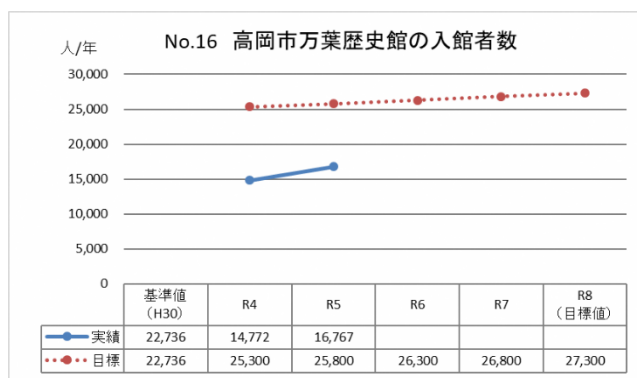


- 新型コロナウイルス感染症の5類移行により回復傾向が顕著であるが目標には達しなかった。
- 勝興寺では、企画展やシンポジウム等の開催で入込者数が7万人を超え、基準年に比べて約4倍に増加した。
- 瑞龍寺と勝興寺といった2つの国宝をはじめとする歴史・文化資産の魅力の発信に注力し、入込者数の増加を図る。

【芸術・文化】



- 新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機に、オンライン配信中心からリアル開催中心に移行した。公式チャンネルの動画視聴者数は減少したものの、実来場者数の回復、増加により、目標値を達成した。
- ものづくりのまち高岡の技・文化・人に直接触れ合える機会を創出し、更なる魅力発信と交流人口の拡大を図る。 [ヒトの循環]

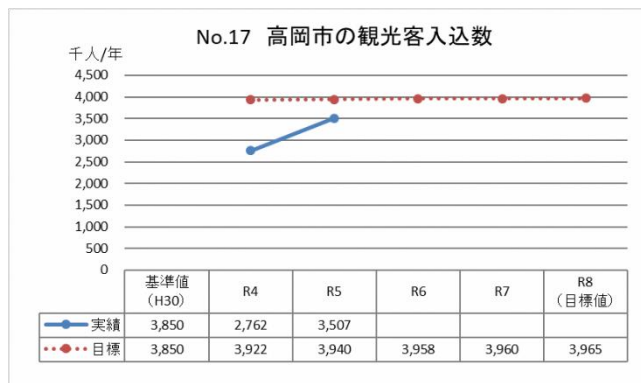


- 令和6年能登半島地震により令和6年1月以降の入館者数が大幅に減少。コロナ禍にあった令和4年度からは約2,000人増加したものの、目標には達しなかった。
- 令和6年度は、大河ドラマと関連づけた企画展の開催等により、万葉集や万葉歌碑、万葉ゆかりの地への関心を高め、入館者数の増加につなげる。

(3) 交流・観光

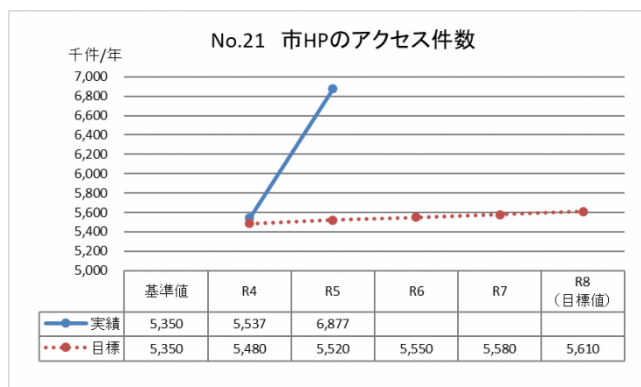
《主な「まちづくり指標」の分析と対応》

【観光・発信】

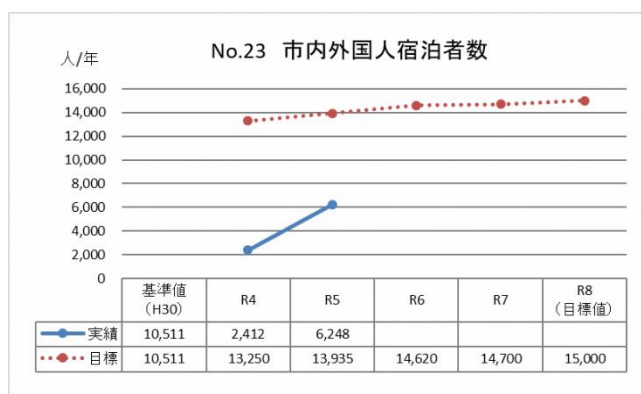


- 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う観光需要の増加により、令和4年度の1.7倍の入込数となったが、令和6年能登半島地震等の影響もあり、目標には達しなかった。
- 全国的な観光需要の増加を見込み、北陸DCに合わせた広域連携による観光プロモーション等による更なる誘客活動に取り組む。

[コトの循環]

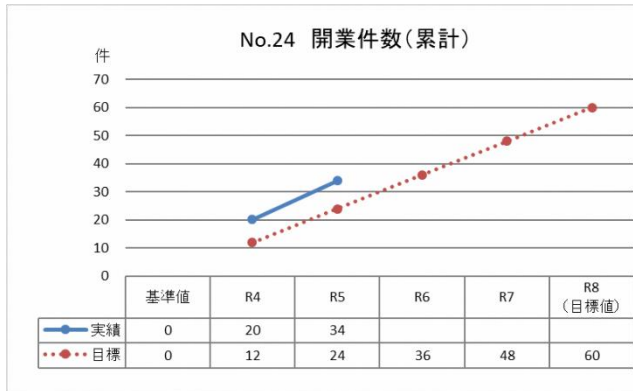


- 令和6年能登半島地震後は、関連ページへのアクセスが多く、令和6年1月は前年度比約2.5倍に増加した。
- 令和5年度末にスマートフォンからの閲覧性や検索性、アクセシビリティの向上を目的に公式ホームページをリニューアルした。
- 市民が必要とする情報へのアクセスの向上を図るとともに、市民の興味・関心を喚起するような、より効果的・効率的な情報発信に取り組む。



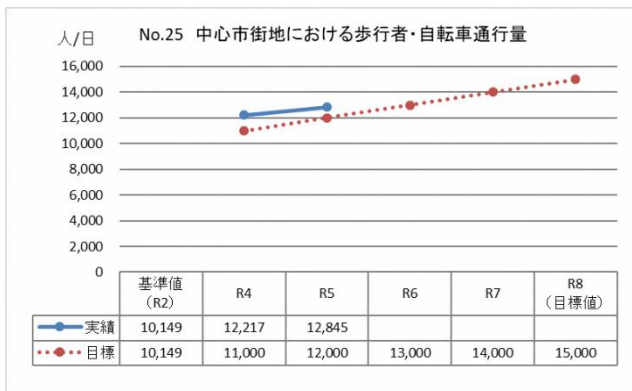
- 令和4年度と比較すると、約2.6倍の宿泊者数となったが、コロナ禍前の状況には回復していない。
- 円安等の影響によってインバウンドの需要が回復傾向にあることから、歴史文化やものづくり産業といった「高岡らしさ」を深く体験できる機会を提供することで、インバウンドをはじめとする更なる誘客の促進に取り組む。

【商業・サービス業・中心市街地・宅地】



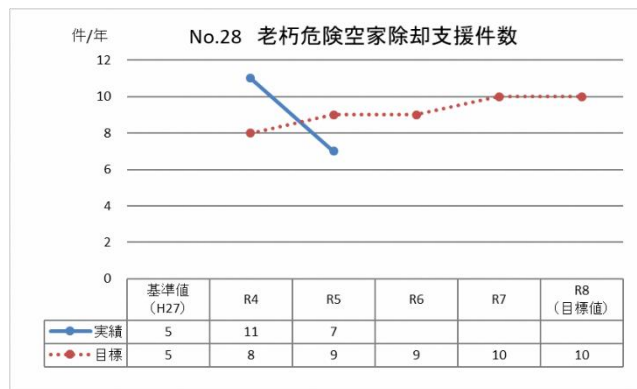
- ・開業希望者への相談体制や店舗の改装費や取得費に対する補助事業等の充実により、年次目標を超える店舗が新規に開業した。
- ・新規開業者に対する伴走支援型の支援に努め、中心市街地や観光地周辺の賑わい創出、魅力向上を図る。

【コトの循環】



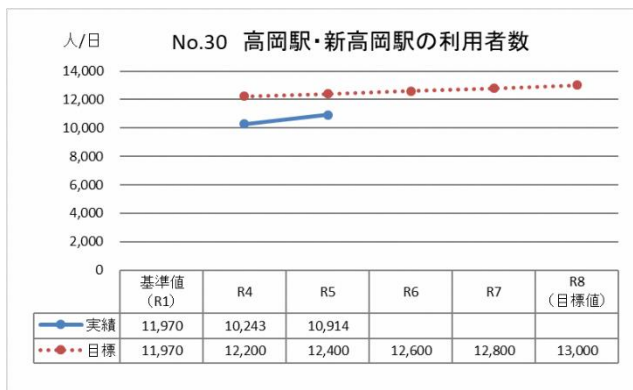
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、人流が回復傾向となり、目標を達成した。特に、休日に中心市街地へと足を運ぶ市民が増加している。
- ・コンセプトを定めた誘引性の高いイベントを開催することで中心市街地への来街を促し、まちなかに対する経済循環意識を醸成し、賑わいの回帰を図る。

【モノの循環】



- ・空き家に関する相談対応や、空き家所有者等への指導等を積極的に展開したが、支援件数は目標に達しなかった。
- ・老朽危険空き家の把握や工事費に対する支援のPR等に努めるとともに、令和5年度から取り組んでいる老朽危険空き家になる前の空き家の除去にも並行して取り組むことで、安心して住み続けられる環境整備を図る。

【交通】



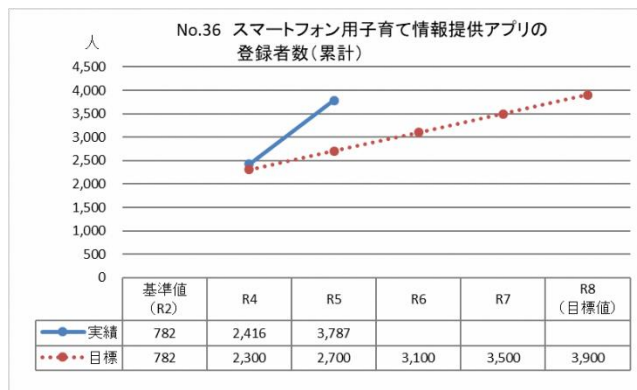
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、公共交通利用者は全体的に回復傾向にあるものの、目標達成には至っていない。
- ・令和6年度は、北陸デスティネーションキャンペーンにあわせ、2次交通を活用した旅行商品の充実や駅施設機能の拡充を図り、高岡駅、新高岡駅の利用促進に取り組む。

【コトの循環】

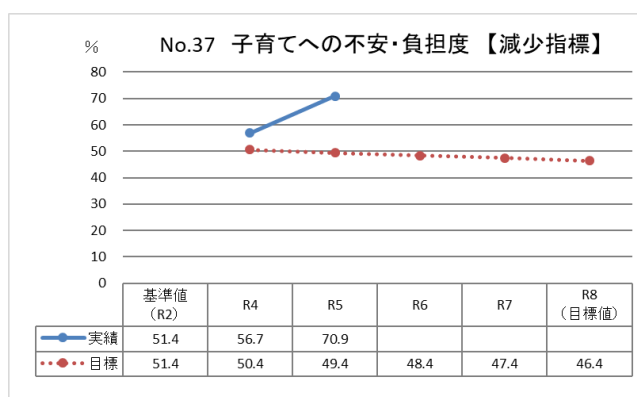
(4) 子育て・教育

《主な「まちづくり指標」の分析と対応》

【子育て】

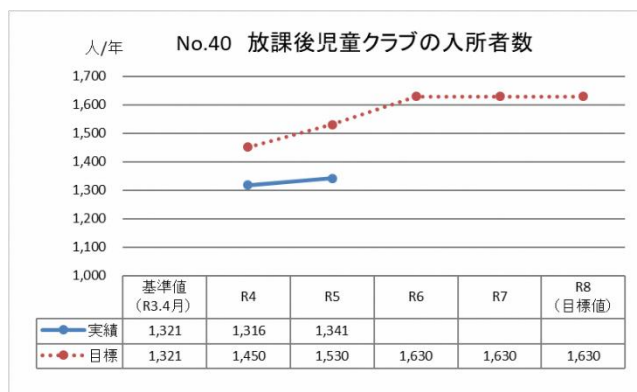


- ・オンライン相談機能やイベントなどの予約機能の追加等により登録者数が増加した。
- ・引き続き、きめ細かい情報発信を行うとともに、アプリ上で予約できるイベント等を拡大し、利便性の向上を図る。また、利用者の声の把握に努め、サービスの充実につなげる。



- ・物価高騰等による経済情勢の変化等が影響し、子育てに対する不安や負担を感じる保護者の割合が増えたと考えられる。
- ・令和6年4月から第3子以上の多子世帯の副食費軽減、9月から第1子の保育料と副食費の軽減を実施しているところであり、経済的な支援等を通じて子育てへの不安・負担の軽減を図る。

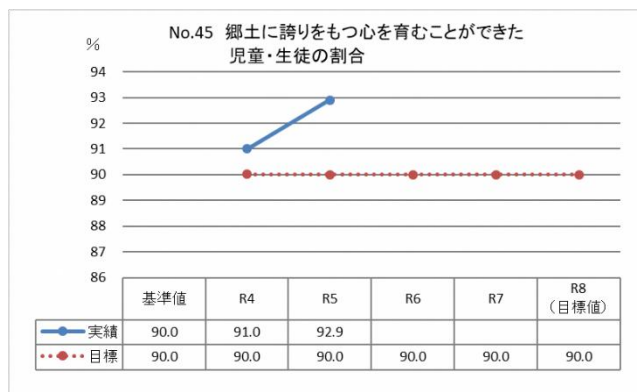
[ヒトの循環]



- ・令和5年度に新たに民間2クラブが開設したこともあり、市全体の入所者数は増加傾向となっている。
- ・引き続き、学童保育のニーズ増加が見込まれる校区において、空き教室や公共施設を利用した放課後児童クラブの推進や民間学童の誘致など、受皿の確保を図る。

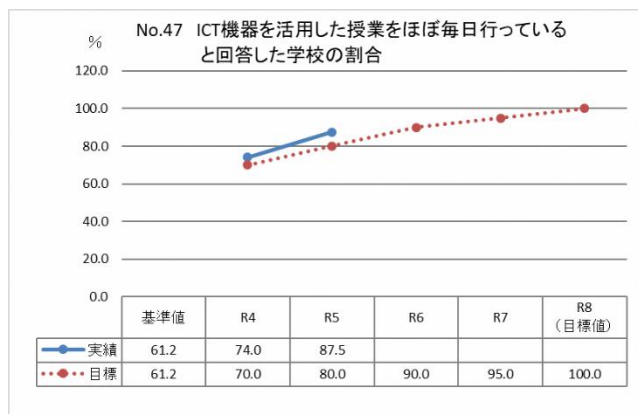
[ヒトの循環]

【教育】



- ・ものづくりデザイン科学習における工房等の見学や指導講師の直接指導を通して、技のすばらしさや制作の苦勞だけでなく、生き方そのものを学び、高岡の伝統工芸を誇りに思う児童生徒の割合が高まったと考えられる。
- ・引き続き、伝統工芸の組合や指導講師と連携し、新たな学習形態等について検討しながら、学習を進めていく。

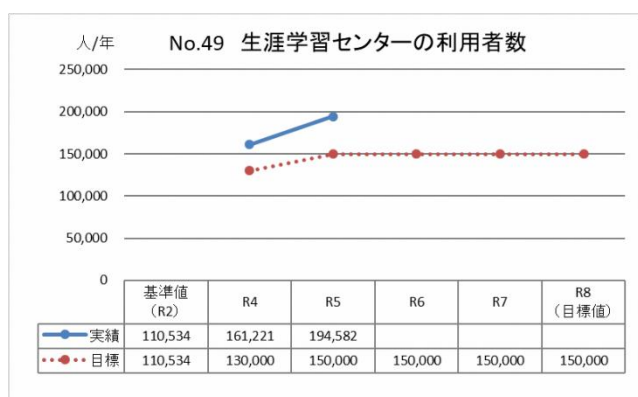
[ヒトの循環]



- ・クラウドを活用して児童生徒同士が資料を共有しながら学習を進めたり、資料を大型テレビで提示したりするなど、ICT 機器を効果的に活用した授業が増え、目標を達成した。
- ・学習専用端末の活用法や活用事例を職員研修会等で周知し、児童生徒が主体的に情報を活用する機会の増加に取り組む。

[コトの循環]

【生涯学習】



- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行や無料 Wi-Fi の導入等により、芸術祭や音楽公演、企業の研修会など多くの団体に利用されたことから、目標値を達成した。
- ・引き続き、機能の維持に努めながら、幅広いニーズに対応できるよう、サービスの向上に取り組む。

【スポーツ】

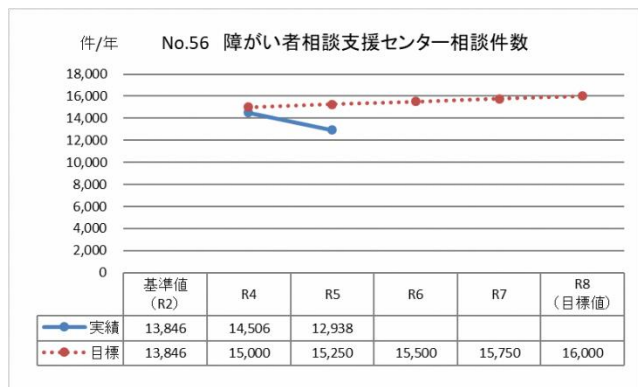


- ・市内スポーツ施設の改修や猛暑による利用控え、令和6年能登半島地震の影響など、様々な要因が重なり、施設利用者が減少していると考えられる。
- ・コロナ禍前の状態に回復できるよう、市民へのスポーツ活動機会の提供等に取り組む。

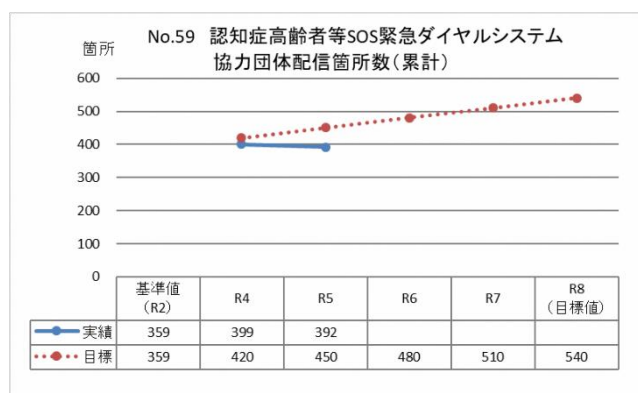
(5) 安全・安心

《主な「まちづくり指標」の分析と対応》

【福祉】



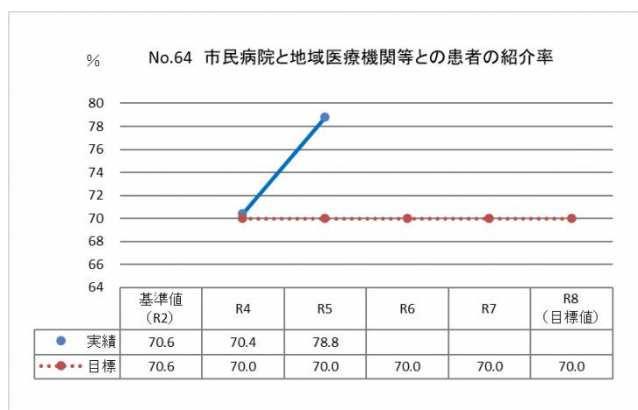
- ・障がい者相談支援センターにおける相談は目標値を下回る一方で、市役所窓口の相談は増加傾向となっている。
- ・関係機関の相互連携を推進し、相談・支援体制を強化するとともに、障がい者相談支援センターの周知に努める。



- ・LINE による周知や協力団体の募集を行ったが、配信箇所数の増加には至らず目標には達しなかった。
- ・行方不明高齢者の早期発見には、多くの方に捜索に協力していただく体制が必要であり、更なる周知により地域の団体や事業所等において認知度を高め、登録数の増加を図る。

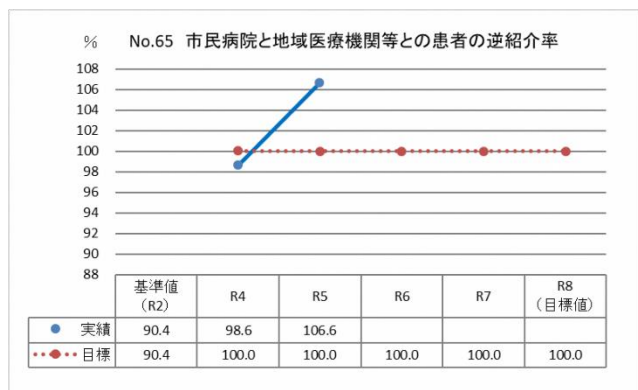
[コトの循環]

【医療】

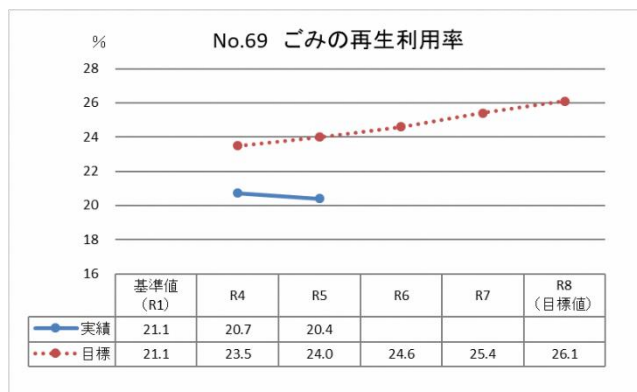


- ・医療連携懇話会の開催、開業医訪問の実施、病院フェスティバルの開催、広報紙の発行、逆紹介の推進等を行い、紹介率は目標値を達成した。
- ・引き続き、地域医療機関等との関係性を強化し、紹介率の目標値の達成維持と紹介患者数増を目指す。

[ヒトの循環]



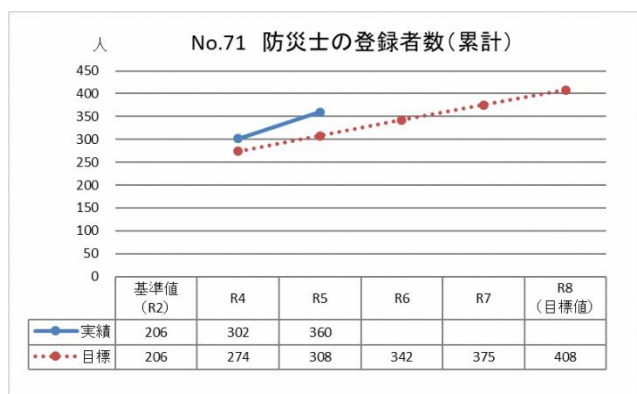
【環境】



- ・概ね横ばいで推移しており、目標達成には至っていない。
- ・目標達成に向け、令和6年10月から木質系廃棄物の資源化、プラスチック資源の一括回収を実施する。今後は、焼却灰及び使用済おむつの資源化に向けて検討を進めていく。

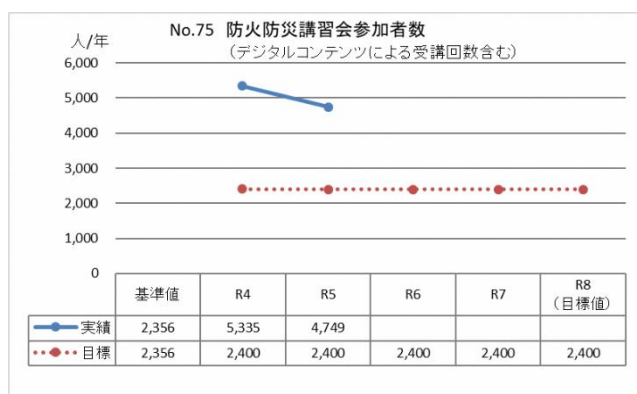
【モノの循環】

【防災・消防・水道】

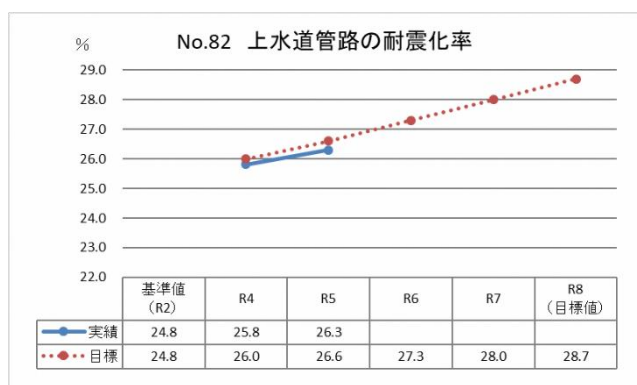


- ・市の防災士養成研修の助成に係る受付枠を拡充したこと等により、防災士の登録者数は目標を上回るペースで増加している。
- ・市民の防災意識の高まりを受け、防災士養成研修にかかる受講料等の支援を通じ、防災士資格の取得促進を図る。

【ヒトの循環】

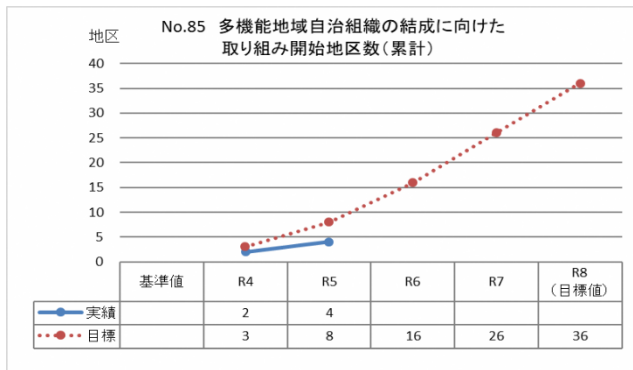


- ・新型コロナウイルス感染症5類移行後、デジタルコンテンツの視聴者数が減少したことにより、実績値は減少したが、講習会の開催数の増加と地域住民の意欲的な参加により、目標値を大きく上回り維持している。
- ・時間や場所を選ばず視聴できる新たなデジタルコンテンツの充実を図り、地域消防・防災力の向上に努める。

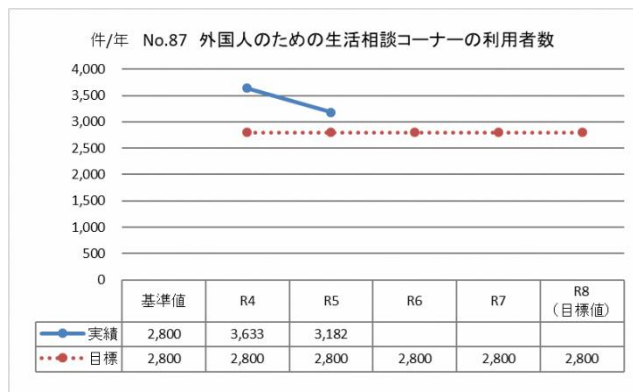


- ・目標値を概ね達成しており、今後もしっかりと事業を継続していく。
- ・資材単価等の上昇による工事費の増大に伴い施工量が減少したことが目標値未達の要因となっており、設計や工事監督の適正化を徹底し、コスト削減に取り組むことで、目標達成を目指す。

【共創・多文化共生】

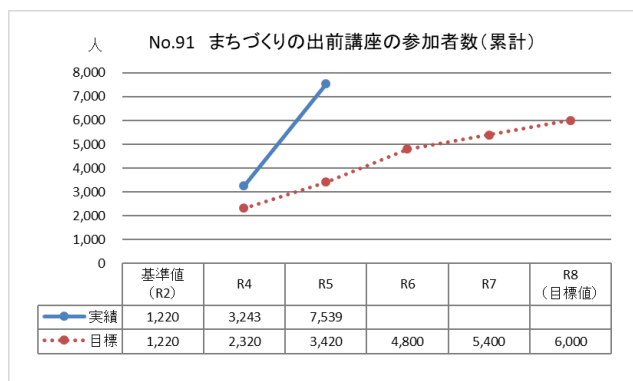


- ・他の地区のモデルとなるよう外部アドバイザーを招聘し住民の意識醸成や議論を丁寧に進めていることから、現在は4地区に留まっている。
- ・多機能地域自治の必要性を周知し、導入を検討してもらえるよう地域への働き掛けを続け、取組みの拡大を図る。 [ヒトの循環]

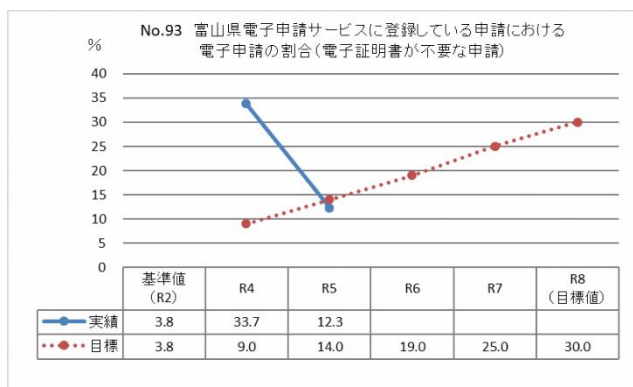


- ・新型コロナワクチンやマイナンバーカードに関する相談が減少したものの、開設時間の拡充、ベトナム語での相談受付開始等の体制充実を図ったことで、目標値を達成した。
- ・引き続き、相談員を対象とした研修や相談員同士のネットワークづくりの機会を提供し、相談対応のスキルアップに取り組む。 [ヒトの循環]

【市民に開かれた市政・高度情報化】



- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行により参加者数が増加し、目標値を達成した。
- ・能登半島地震の影響により、年明け以降の防災講座の受講希望者が大幅に増加したことから、防災分野に新たに「災害時要支援者の防災講座」を加え、市民や自治会で高まる防災意識醸成のニーズに対応する。



- ・オンライン申請率が約50%であった新型コロナウイルス関連の申請手続がなくなったことにより、電子申請の割合が大幅に減少した。
- ・電子申請で受付できる手続は順次拡大しており、その利便性等について広く周知するとともに、利活用拡大に向けたPR等に努めていく。 [コトの循環]

5 アフターコロナ編における「4つの視点」の取組み

【デジタル化・DXの推進】

- 歴史・文化**・文化活動やイベント等のオンライン配信、AR等を活用した歴史文化資産の魅力発信
- 交流・観光**・万葉線等への交通系ICカードの導入支援
 - ・MaaSアプリを活用したデジタルクーポンの販売や文化施設等におけるWi-Fiの整備、キャッシュレス決済の導入
- 子育て・教育**・教育現場におけるデジタル教科書やデジタルノートの活用
 - ・子育てアプリ「ねねっとたかおか」の機能拡充（オンラインでの対面相談やイベントに参加予約ができる機能の追加）による妊婦・子育て世帯支援
- 安全・安心**・市民の健康づくりや生きがいづくりを目的とした「TAKAOKAアプリ」の運用、高齢者の孤立予防を目的とした「双方向見守り・避難情報等配信サービス（マゴコロボタン）」の開始
 - ・電子申請手続の推進やどこでも市役所シリーズの展開

【人材育成・人材確保】

- 地域産業**・地域課題の解決と地域経済の活性化を目指す事業者を支援する「未来プロジェクト（循環形成による地域課題解決事業補助）」や「コミュニティビジネス推進事業」等の実施
- 歴史・文化**・文化事業や歴史体感プログラム等を通じた伝承者や理解者の育成
 - ・再始動した地域の祭、行事等へ「地域の伝統行事等のための伝承事業」を通じた支援
- 交流・観光**・ものづくり体験や工場見学など高岡らしさを体感できる観光コンテンツの利用促進

【多様な働き方のできる環境整備の推進】

- 子育て・教育**・働きたい女性や資格・スキル等を活かしたい女性と人材を求める企業等を登録・マッチングする「高岡市女性人材バンク」の推進

【地域コミュニティ活動の活性化】

- 地域産業**・地域課題の解決と地域経済の活性化を目指す事業者を支援する「未来プロジェクト（循環形成による地域課題解決事業補助）」や「コミュニティビジネス推進事業」等の実施（再掲）
- 歴史・文化**・文化活動やイベント等のオンライン配信、AR等を活用した歴史文化資産の魅力発信（再掲）
 - ・再始動した地域の祭、行事等へ「地域の伝統行事等のための伝承事業」を通じた支援（再掲）
- 交流・観光**・野村地区の予約型乗合タクシー「のむタク」や木津地区の地域バス「木津ぐるりんバス」の運行など市民協働型地域交通システムの展開
- 安全・安心**・地域交流センターの設置、「若い世代と共に進める地域活動活性化支援事業」の実施

※ カーボンニュートラル及び循環経済の推進

- 地域産業**・「脱炭素社会実現に向けたチャレンジ新商品認定事業」、「高岡市カーボンニュートラル対策等支援補助金事業」の実施
 - ・アルミ缶の回収スポット「さあ、ECO BASE」の設置やプラスチック資源ごみの一括回収等による資源循環の推進
 - ・高岡斎場における太陽光発電設備の設置など再生可能エネルギーの導入